

# ビジネスの基本は人と人との信頼関係



新規認定取得者たちとの記念撮影。  
下段中央に小田島会長、白川協会長、廣瀬会長

東京代協

## 損害保険トータルプランナー 記念品授与式と座談会開催

日本代協の東京ブロック(東京代協)は1月16日、東京・千代田区の損保会館で損害保険トータルプランナー記念品授与式および座談会を開催した。今期、東京代協からは119名が損害保険トータルプランナーの認定を取得。記念品授与式にはこのうちの16名が出席し、東京代協の廣瀬城児会長から記念品が手渡された。また、当日は日本代協の小田島綾子会長、損保協会の白川儀一協会長がそれぞれ挨拶し、新規認定取得者を称えた。

### 募集人のさらなる資質向上へ 保険業界の職業魅力を業界内外へ伝達

主催者を代表して挨拶した廣瀬会長は、東京代協が当面注力する取組みについて「損保協会や日本代協と連携して募集人教育事業や代理店の価値向上のための取組みに加え、災害に便乗した悪質な業者対策やばうさい探検隊マップコンクールなどの防災・減災への取組みのための支援策を強化していく。また、募集人の資質向上に関するセミナーの開催といったオンラインの取組みも引き続き進めていく」と述べた。そのうえで、「会員同士が集まり情報交換をして切磋琢磨できる集い、語らう場としての意義を認識し、リアルとオンラインを融合しながら、代協活動は経営に有効な情報が得られる、日々の営業活動に生かせる、そして自身を深められるという声が広がるように努めていく」と述べると、代協の意義を周知していく考えを示した。



座談会のもよう

日本代協の小田島会長は挨拶のなかで、保険業界の職業魅力を業界内外に伝える必要性を強調。「幅広い年代の方が生き生きと仕事のできる業界は活力があり魅力的であり、働きがいやスキル、キャリアを積み重ねて自己成長ができる。リーダーでなくても女性が仕事を通じて能力を高め、長く働くことができる。この保険業界の職業魅力をもっとお伝えしていきたい。代理店の業務はDXの推進などにより、



(損保版)

第1~4月曜日発行  
発行所 新日本保険新聞社  
大阪市西区朝本町1丁目5-15  
(郵便番号550-0004)  
電話 (06) 6225-0550 (代表)  
FAX (06) 6225-0551 (専用)  
購読料 1か月2420円  
(消費税、送料込み)

©新日本保険新聞社 2023

シンニチ保険Web  
www.shinnihon-ins.co.jp  
購読者専用バックナンバー  
閲覧パスワード  
wonderful  
2023年4月3日 AMまで  
※偶数月の第一日曜日正午ごとに変更

従来の仕事内容からずいぶん変化、進化した。そんな様子をほかの業界、消費者の方からいいねと言っていただけでも十分な発信を情熱と行動を進めたい」と力強く述べた。来賓挨拶した損保協会の白川協会長は環境の変化について言及し「Z世代やデジタルネイティブといわれる世代がいよいよ保険購買層全体における割合を高めてくる。こうしたお客様や市場の変化に対応していくことがこれまで以上に求められる」と指摘。そのうえで、「こうしたなかでも重要なことはビジネスの基本は人と人との信頼関係で

あり、変化のなかでも保険商品を購入する際や事故発生時には専門家に相談したいという消費者からの声は揺るがな」と述べると、今後代理店の存在意義が一層高まるとし、その活躍に期待を寄せた。その後、損害保険トータルプランナーの新規認定取得者への記念品授与式と認定取得者3名による認定取得に関する座談会が行われた。座談会は日本代協教育委員会の雨宮新一郎副会長の司会で進行。損害保険トータルプランナーの認定取得を目指すたきっかけについて瀧口登美子氏(MS曙株式会社)は「私は内務事務をしているが、全社員がTPPの認定を取得するという当社の方針のもとで認定取得に取り組むことにした。実際に受講してみると自分の業務の役に立ち、スキルアップできる資格だと感じた」と述べた。受講の感想について鮎川智広氏(有限会社キョウエイライフ)は「自分の強み、ひいては代理店の体制整備のあり方、それに伴う自身のスタンスやポリシーについて立ち返って考える機会になり、大変有意義だった」と話した。同じ質問に対して高橋彩子氏(株式会社城南保険事務所)は「代理店の仕事をはじめて4年になるが、講義や学びを通して仕事を正しく覚えることに大いに役立った」と話した。